

## 被災者の生活再建をめざして

おだがいさまセンターができた理由（わけ）

ビッグパレットふくしま避難所県運営支援チーム  
県仮設住宅等入居者支援連絡調整会議事務局

天野 和彦

これまでの被災地に見られない被災住民の傾向について  
仮設応急住宅より借り上げ住宅の入居者が多くなって！  
福島県における被災者にかかる二重のくびき

「生命を守る」そこからの出発

- ・時間が止まった場所
- ・秋から冬にかけての課題・・・寒さ対策、インフルエンザ
- ・すべての避難住民の見守りマップの作成を！

生命を守るためには自治活動だ！・阪神と中越から学ぶ

- ・阪神・淡路の震災時になぜ仮設住宅で多くの孤独死が生まれたか  
交流の場の提供と自治活動の促進
- ・そんなの効果あるの？・サロン（喫茶スペース）の設置

おだがいさまセンターの経験から

- ・今日はありがとうな・Bホールにできたはじめての自治会
- ・組織的・体系的に交流と自治を促進したい・おだがいさまセンターの設立
- ・おだがいさまセンターのしくみ A Domo 関係を築く
- ・おだがいさまセンターの活動に確信を持った日
- ・住民の願いをかたちに・・・夏祭りをなぜ開催したのか

富岡町の支援モデルから

- ・いい加減にしてくれ！・・・おだがいさまセンターへの一本の電話
- ・仮設応急住宅等の現状と課題の整理
- ・役割分担をどうするか ・得意分野と不得意分野
- ・県外避難者のケアのしくみ

災害弱者である子どもについて

- ・足りない情報と見えない生活の狭間で・・・荒れる子どもたち
- ・支援チームにある日届いた手紙
- ・子どもを守る。子どもにつながる親や地域を守る。

被災住民に一番必要なもの

「希望」

住民間の絆はどこから生まれるか

声かけ運動の限界 - 霞を喰っては生きられない

生活再建のために

居場所をつくろう ・ 生きがいと雇用創出のためのしくみづくりへ

オール福島だ！オール JAPAN だ！

住民・NPO・高等教育機関・行政の枠を超えて！

住民・NPO・高等教育機関・行政のお互いの役割分担を！

被災地責任ということ・・・ふくしまの知恵の集積を！

「ふくしまをあきらめない」

# おだがいさまセンターが 生まれた理由（わけ）

ビッグパレットふくしま避難所の  
取り組み、そして現在

ビッグパレットふくしま避難所県運営支援チーム  
県仮設住宅等入居者支援連絡調整会議事務局  
**天野 和彦**

# ■ 「生命を守る」 そこからの出発

- ・ 人が死ぬかもしれない ・ ・ 4月11日 ・ 県庁支援チーム発足
- ・ 時間が止まった場所
- ・ 震度5強の余震ー避難経路図と避難者名簿
- ・ これは人権の問題だ！
- ・ 毎日が恥ずかしいんです
  - ・ ・ ・ 女性の専用スペース誕生
- ・ 声の情報が欲しい ・ ・ ・ おだがいさまFM誕生
- ・ 避難所と専門機関との協働



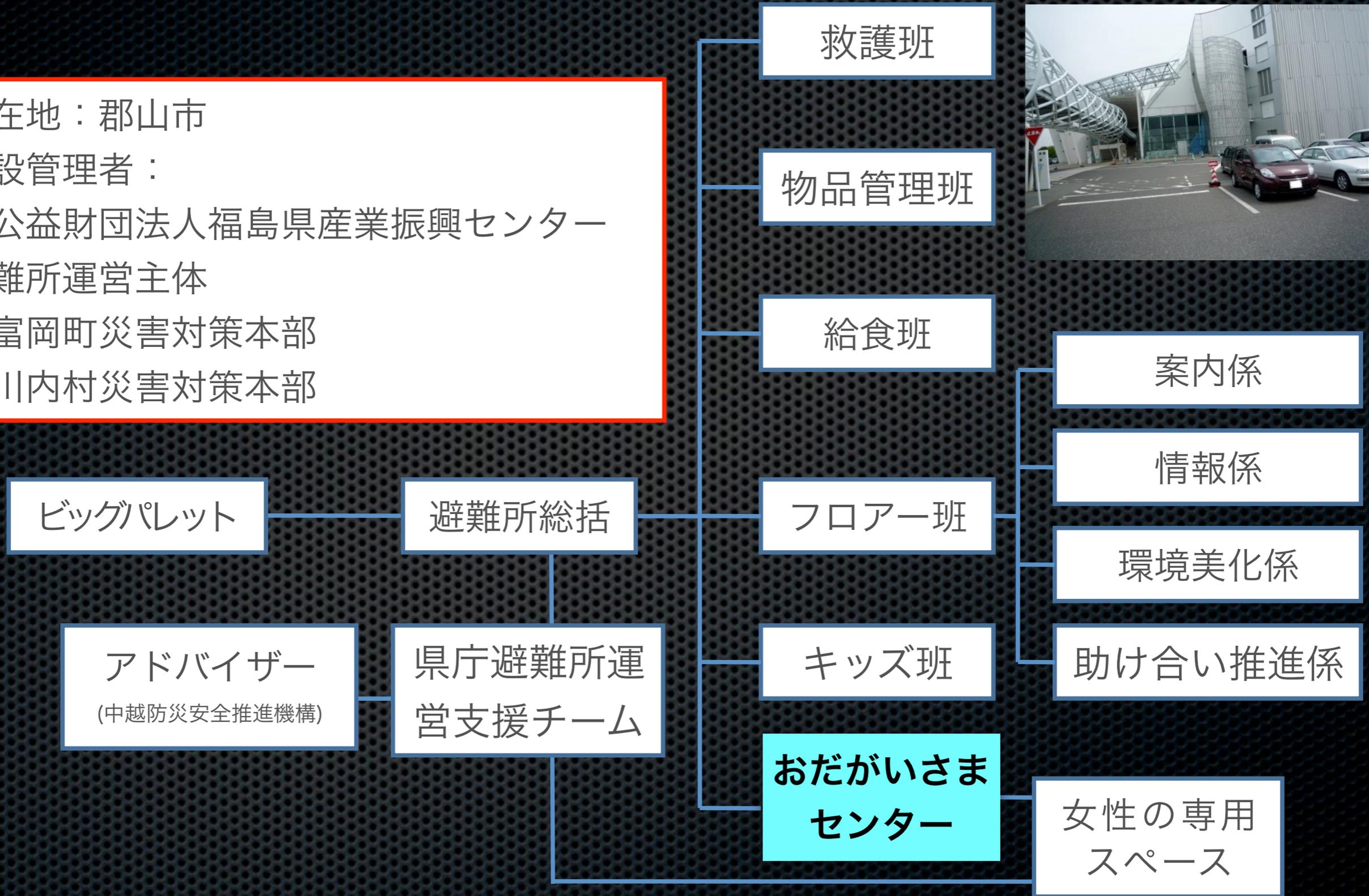






# 避難所の運営組織図

- ◆所在地：郡山市
- ◆施設管理者：  
公益財団法人福島県産業振興センター
- ◆避難所運営主体  
富岡町災害対策本部  
川内村災害対策本部





# ■ 生命を守るためには自治活動だ！

## ・ ・ ・ 阪神と中越から学ぶ

- ・ 阪神・淡路の震災時になぜ仮設住宅で多くの孤独死が生まれたか

※ **交流**の場の提供と**自治**活動の促進

- ・ そんなの効果あるの？ーサロン（喫茶スペース）と足湯の設置

# ■ 足湯の活動



# 足湯のつぶやきより・・・

聞きたい曲があるの。でも、リクエストできない。泣いちゃう。亡くなった息子がいて、その子が好きだったの。巨人の星のテーマ。その子の思い出も何もないの。写真も新品のスーツも。探そうにも二十キロ圏内だから、もう戻れない。

川内村から来たんだよ。富岡町の人たちは、一回川内村に避難してきて、自分が作った農作物とかをあげていたんだけど、そしたら川内村まで三十キロ圏になっちゃってね。

せっかく作った野菜が食べられないのが何とも切ないね。

戦争よりも放射能の方がひどい。全てを失った。菜っ葉も椎茸もダメになった。犬を自宅に置いてきたんだ。よく分かっている犬で、車の音で家族を見分け、角でちゃんと待っているんだ。帰るときも角で見送ってくれる。（私は）右膝が痛いんだけど、その右膝を舐めてくれるんだよね。

# ■ サロンの活動





# ■ おだがいさまセンターの取り組み

- ・ 組織的・体系的に交流と自治を促進したいーおだがいさまセンターの設立
- ・ おだがいさまセンターのしくみ・ ・ A Domo関係を築く



# ■ おだがいさまセンターの取り組み

- ・ おだがいさまセンターの活動に確信を持った日
- ・ 住民の願いをかたちに ・ ・ 夏祭りをなぜ開催したのか



花植え隊



夏祭り

# ■ おだがいさまセンターの取り組み

- ・今日はありがとう
  - ・ ・ ・ Bホールにできたはじめての自治会





# ■ これまでの被災地に見られない 被災住民の傾向について

▼ 仮設応急住宅より借り上げ住宅の入居者が多くなって！

例：富岡町

- ① 福島県内の仮設住宅に避難 2275名 (14.5%)
- ② 福島県内の借上住宅に避難 7119名 (45.5%)
- ③ 福島県外に避難 6263名 (40.0%)

▼ 福島県における被災者にかかる二重のくびき

- ① 地震・津波・原発事故
- ② 被災地に住めない現状

■ これまでの被災地に見られない  
被災住民の傾向について

仮設住宅

14.5%

借上住宅

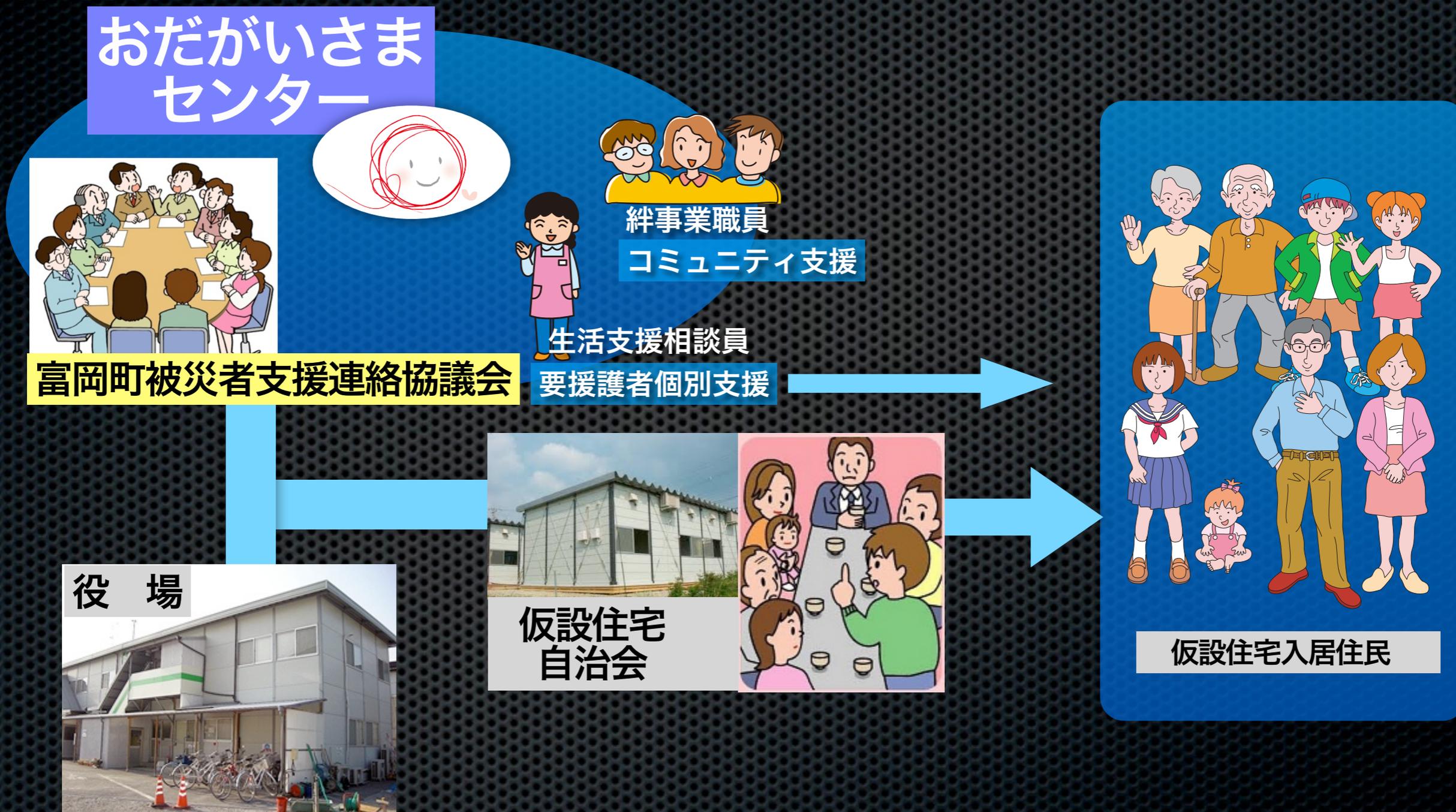
45.5%

県外避難

40.0%

それぞれの対象ごとに支援の枠組みを構築

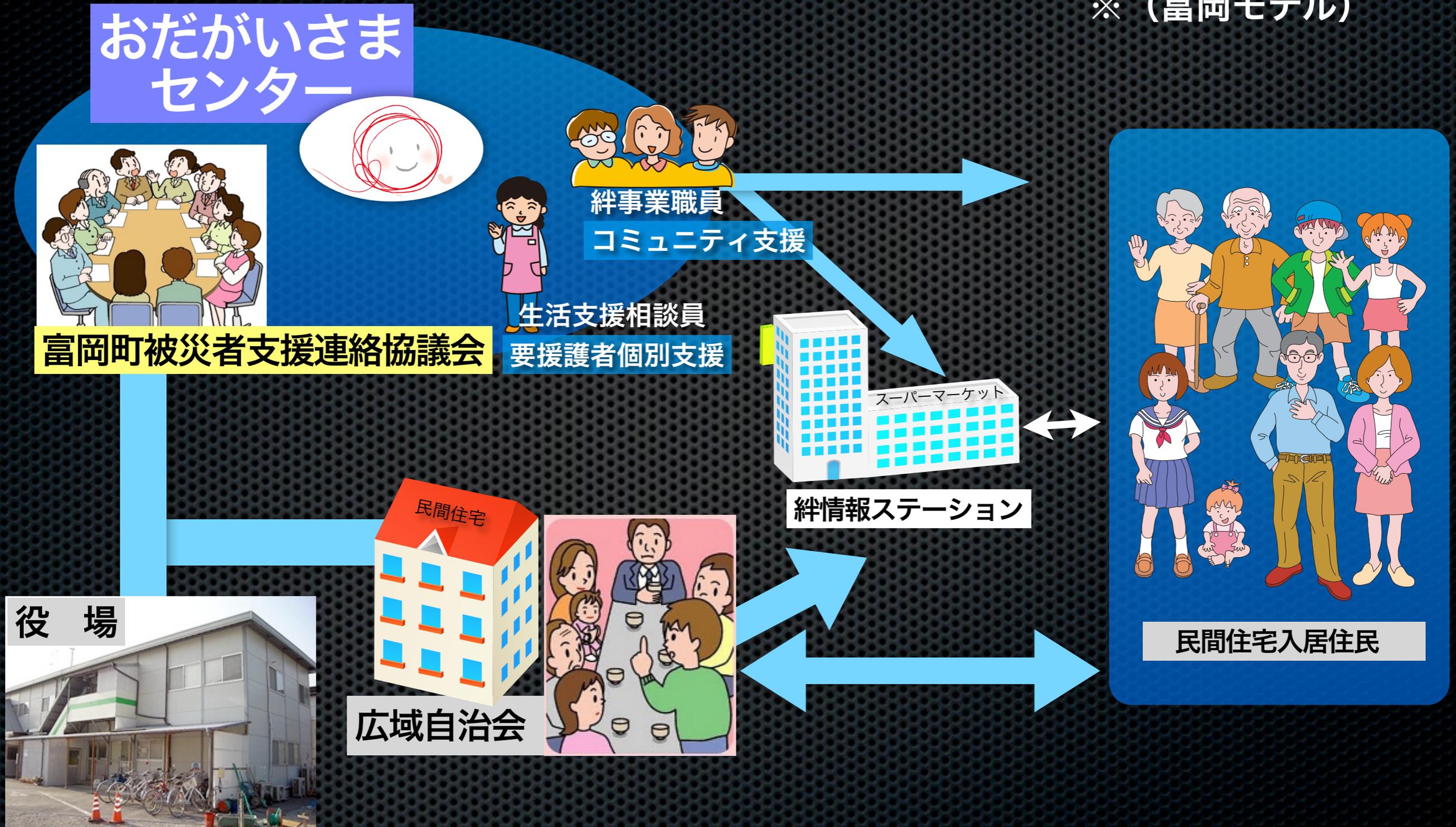
# 仮設住宅への支援の枠組み ※（富岡モデル）



おだがいさまセンターが事務局として協議会を運営

# 借り上げ住宅への支援の枠組み

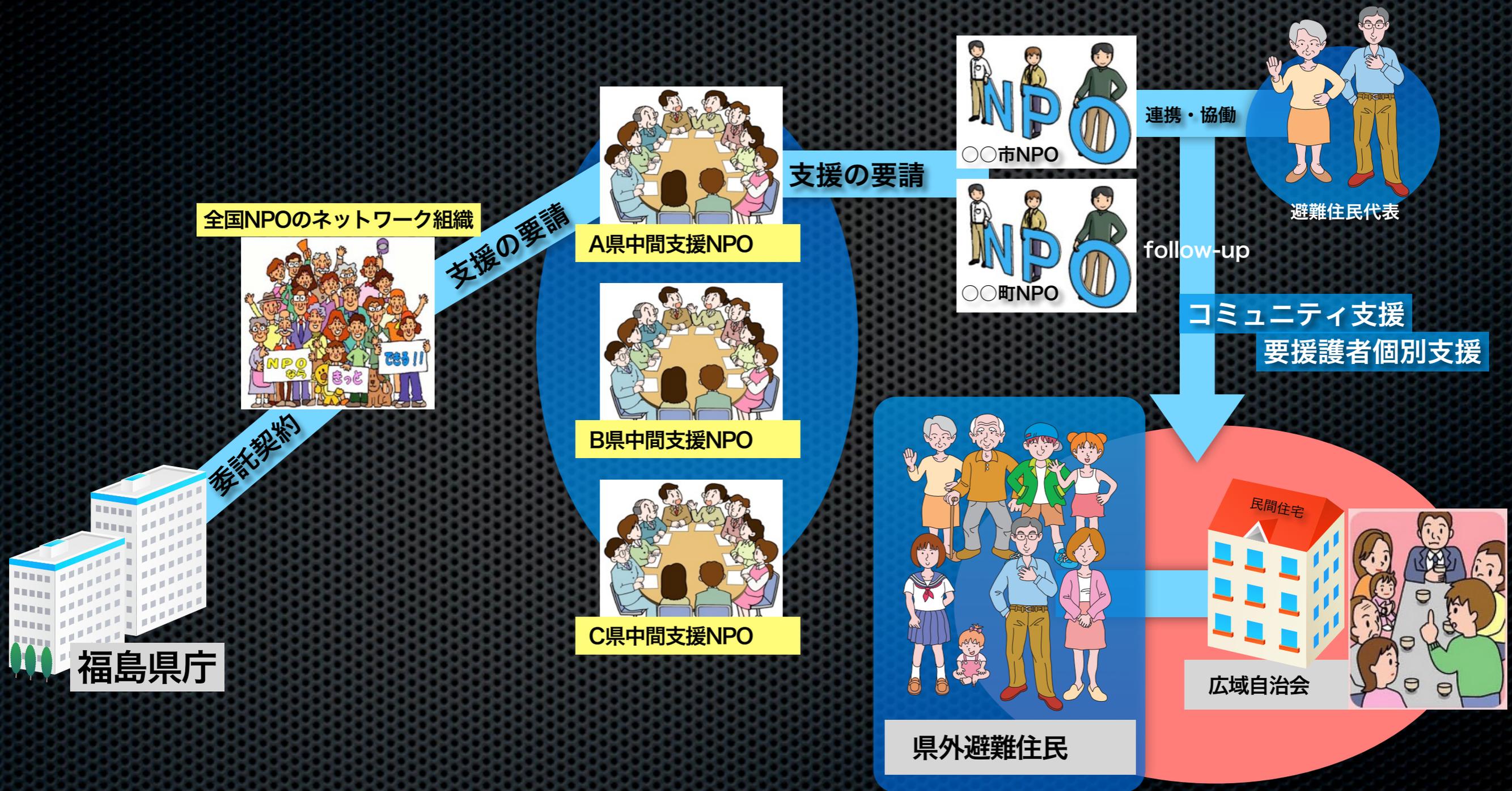
※（富岡モデル）



広域自治会を組織し、絆情報Sを活用しながら自治活動を促進

# 県外避難者への支援の枠組み

※ (県シミュレーションモデル)



県がNPO法人に委託し、県外避難住民と協働で支援

# 富岡町の被災者支援モデル

富岡町被災者支援連絡協議会  
事務局 おだがいさまセンター（県が総合調整）

絆づくり研修  
社教主事等が  
プログラムを作成

生活支援研修  
保健師等が  
プログラムを作成

コミュニティづくり  
絆事業職員 + 自治会・ボランティアなど

要援護者の個別支援  
生活支援相談員 + 保健師など

情報の共有

仮設住宅への支援

仮設住宅への支援

- ① 自治会の立ち上げ
- ② 集会所の活用
- ③ 自治会・ボランティアとの協働事業

- ① 見守りマップの作成
- ② 支援対象者の絞り込み
- ③ 保健師・医師との連携・協働



借り上げ住宅への支援

今後の支援の課題

- ① 広域自治会の立ち上げ
- ② 拠点（情報センター）整備
- ③ 地域住民との交流・協働
- ④ 支援対象者の掘り起こし
- ⑤ 専門機関等へのコーディネート

- 県外避難者へのフォローアップ  
県外自治組織の立ち上げ
- 雇用機会の創出  
富岡町人材センター（仮称）の設立
- 本事業の各自治体への汎化（県チーム）

# ■ 被災地責任として

非日常の空間で、日常の生活を送らなければならなかった人々・・・被災を受けた地域は自らが経験したことをしっかりと記録に残し、次に繋げてゆく「被災地に課せられた責任」がある。

ビッグパレットふくしま  
避難所記

生きていく  
私もあなたも  
うん  
涙を拭いて

「うん 生きていく 私もあなたも うん 涙を拭いて」

福島県で最大規模  
コンベンション施設  
最初の使命は、富  
やがて生まれた「お  
カフェでの交流、芽  
まだ帰れないふるさと  
歌い続けた相馬盆唄の  
避難所でボランティアに  
そこで語られた人々の  
写真家・野口勝家が真摯  
感謝と喜びを見いだす停  
り

あんなに笑うことついでないんだよね、泣くことはあっても  
今後どうすつべと思うとな。  
この見聞つて、話すことが大事なんだな。(2016年)

被災地でも推選でまだ入れない。  
人生すべて、だから、これだから一番大切だから。(2016年)

定価 1,500円(税別) ★収益はすべて富岡町・川内村に義援金として寄付されます。

「ふくしまをあきらめない」と決めた  
詩人・和合亮一氏の詩集の編集者は、  
ビッグパレットふくしま  
避難所程序運営支援チーム・  
天野和彦氏へのインタビュー。

ビッグパレットふくしま避難所記  
「ビッグパレットふくしま避難所」の記録!

ここに  
あるのは、非日常を日常として  
生きなくてはならなかった人たちの、  
つぶやきです。  
等身大の言葉が、  
まっすぐ心に飛びこんできます。  
人の心を救うのは、  
やはり人なのだということを、  
強く感じました。

俵 万智

被災者から発信する  
「ビッグパレットふくしま避難所」の記録!

被災地から発信する  
「ビッグパレットふくしま避難所」の記録!